

礼拝プログラム

2018年12月2日

司会: 福島兄 奏楽: 西井姉 通訳: 石塚姉

賛美: Hymn

使徒信条: * Apostle's Creed

アナウンスメント: Announcement

牧会祈禱: Pastoral Prayer

感謝献金: Offering

メッセージ: Sermon

「待降・降誕・そして待望(再臨)」

"Advent, Christmas and the Second Coming of Christ"

大川道雄 師

賛美: Hymn

頌栄: Doxology

祝禱: * Benediction

*印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のまままで結構です。礼拝メッセージは英語に訳されません。必要な機器を会堂入口にてお求めください。Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

アッシャー: マーシャル姉、ピーターズ姉

グリーター: スコット姉、アベデ姉

ナーサリー: 石井姉、西井姉

チルドレンチャーチ: プロクター姉、石塚姉

セキュリティー: 大野兄

来週、9日の日英合同礼拝

英語部が担当ですが、以下の方々はいつも通りよろしくお祈りします。

アッシャー: 福島姉、ピアス姉

グリーター: 井口姉、ウィットワース姉

ナーサリー: 本多姉、ウィットワース姉

セキュリティー: ウィットワース兄

おしらせ

本日の礼拝後の予定
コーヒアワー、バイブルスタディー
コワイヤー練習、フラ練習

■本日の礼拝によろこそいらっしやいました。教会について、集会、信仰、キリスト教等について、ご質問がある方はお気軽に牧師までおたずねください。

■本日、大倉牧師はロサンゼルス教会の礼拝と特別集会にうかがっています。当教会の礼拝とバイブルスタディーは大川先生が担当してくださいます。

■今日からアドベントです。毎日曜日のローソクを一本づつ灯していきます。主イエスのご降誕を待ち望みましょう。

■本日、正午からクリスマスに向け最後のコワイヤー練習が礼拝堂でもたれます。

■来週の日曜日(9日)は午前10時より日英合同礼拝で、その後、クリスマスランチ、そしてクリスマスプログラムを楽しみ、主のご降誕をお祝いします。この日はポットラックランチです。礼拝堂玄関、あるいは八尋ホールに掲示されている用紙にサインアップをお願いします。

■12月14日(金)、午後7時より日語キャンドルサービスをもちます。皆で主のご降誕を喜び、賛美しましょう。

■1月12日(土)、オレンジ郡教会にて新年聖会がもたれます。今年は「こおんな旅がしたい」(イザヤ43:19)というテーマのもと、バンクーバー日系人福音教会の福迫徹也牧師をお招きしています。参加希望の方は英子姉までチェック(宛先はSDJCCでメモ欄にShinnenseikai)と共に申込書をお渡しください(締め切りは1月6日)。

今週の予定

5日(水) 水曜集会 7:30pm-
6日(木) 木曜集会 10:30am-
9日(日) 日英合同礼拝 10:00am
クリスマスプログラム

おしらせ

「人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言葉で生きるものである」 マタイ4章4節

数年前、ブリティッシュ・ウィークリー誌の編集長宛てに、ある男性が手紙を書きました。この男性は教会で聞いた説教を一つも覚えていないので説教は不要ではないかという疑問を投げかけてきたのです。

「私は過去30年、教会の礼拝に出席し続け、およそ3000回の説教を聞いてきましたが、驚くことに私はそのうちの一つも思い出せないのです！」と彼は手紙に書いていました。

この男性の疑問に返答しようと、たくさんの手紙が編集長に送られてきました。その中でこの一件に決着をつけてくれた一通の手紙がありました。そこには次の言葉が書かれていました。

「私は結婚して30年になります。その間に食べた食事は32850回で、そのうちのほとんどは妻が調理してくれました。ところが私は突然、たった一つの食事のメニューも覚えていないことに気づかされたのです。しかし、覚えていなくても、一つ一つの食事によって私は栄養を与えられ養われてきました。それらの食事なしでは、もうずっと昔に私は餓死していたことでしょう」

今年一年間、毎日、何を食べてきたかなど私達は覚えていません。しかし、その一年間の食事があるから今の私達があるのです。礼拝メッセージも全く同じなのです。週ごとの礼拝を大切にしましょう。